

加古川市上下水道事業決算説明資料 (下水道事業)

加古川市上下水道局

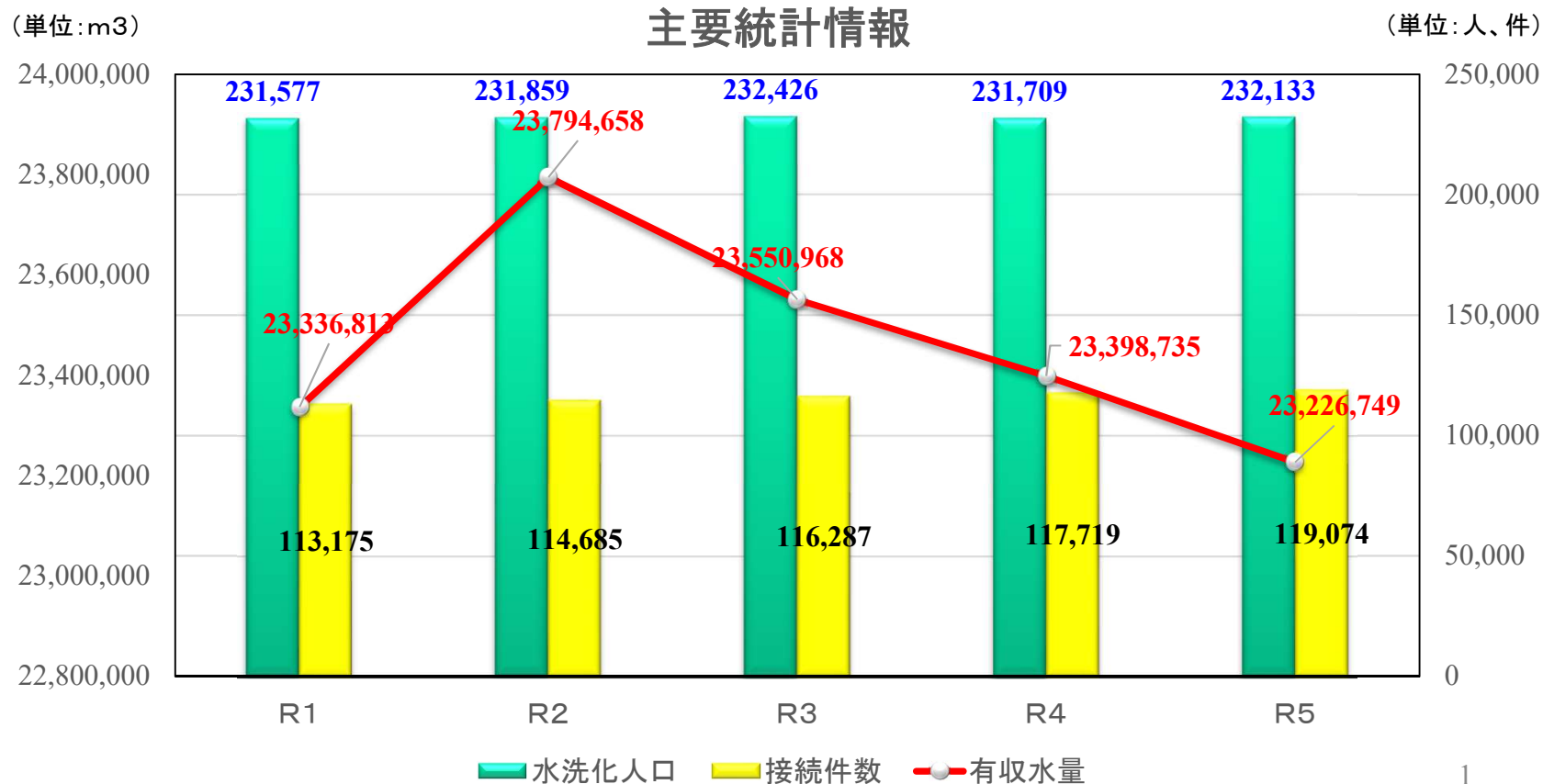


1 -1 決算の概要

有収水量は一般家庭が
188,291m³減少



- 主要統計情報 ※()内は前年度
 - ・水洗化人口 : **232,133人** (231,709人) + 424人 [+0.2%]
 - ・接続件数 : **119,074件** (117,719件) + 1,355件 [+1.2%]
 - ・有収水量 : **23,226,749m³** (23,398,735m³) △ 171,986m³ [△0.7%]



1 -2 決算の概要

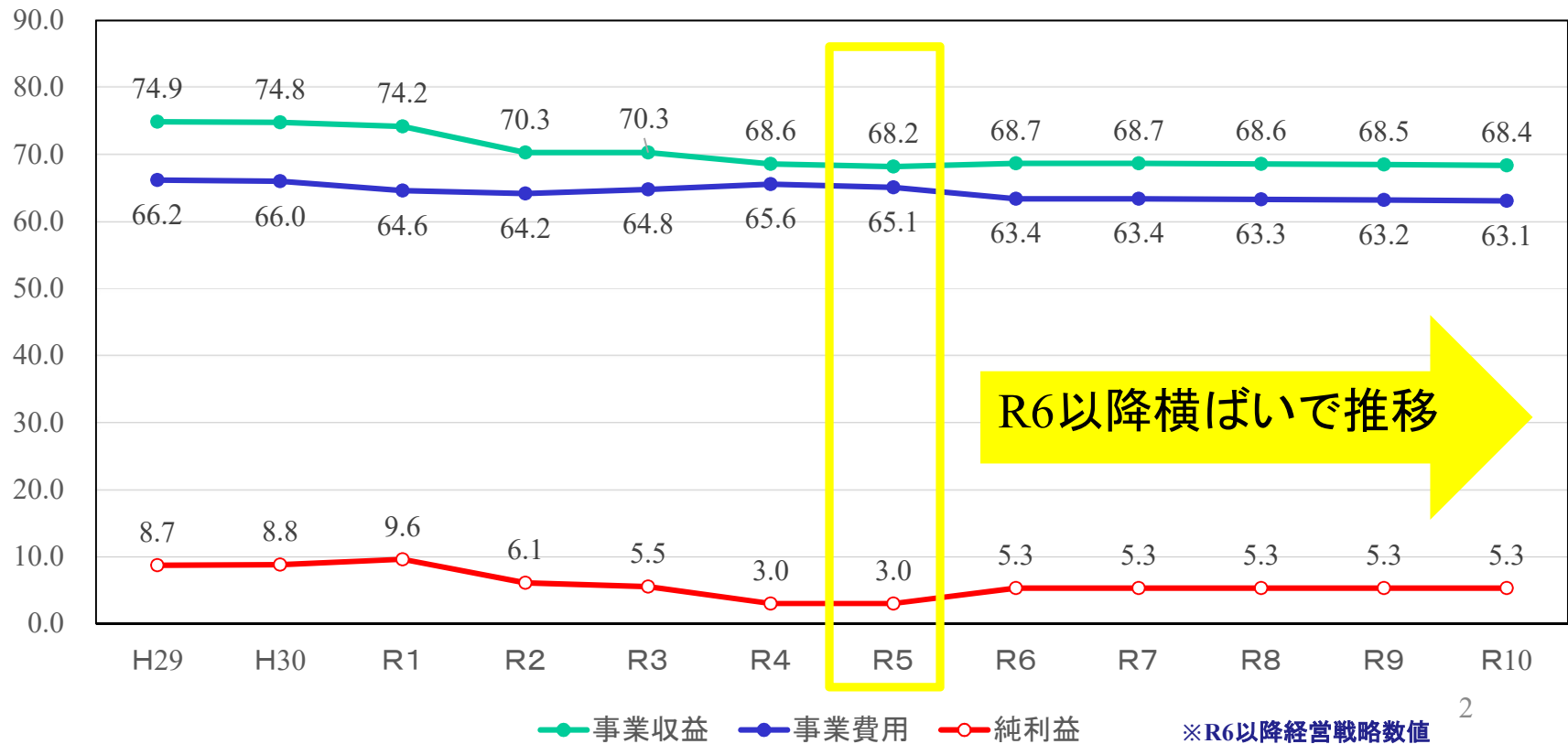
流域下水道維持管理負担金等は増加したものの、資産減耗費や企業債償還利息が減少

- 下水道事業会計※()内は前年度
 - ・事業収益 : **68億1,562万円** (68億6,433万円) Δ 4,871万円
 - ・事業費用 : **65億1,847万円** (65億5,720万円) Δ 3,873万円
 - ・純利益 : **2億9,715万円** (3億 713万円) Δ 998万円



(単位:億円)

事業収益、事業費用、純利益の推移



2 事業収益

●事業収益総額 68億1,562万円(前年度比 $\Delta 0.7\%$)

【主な減少要因】

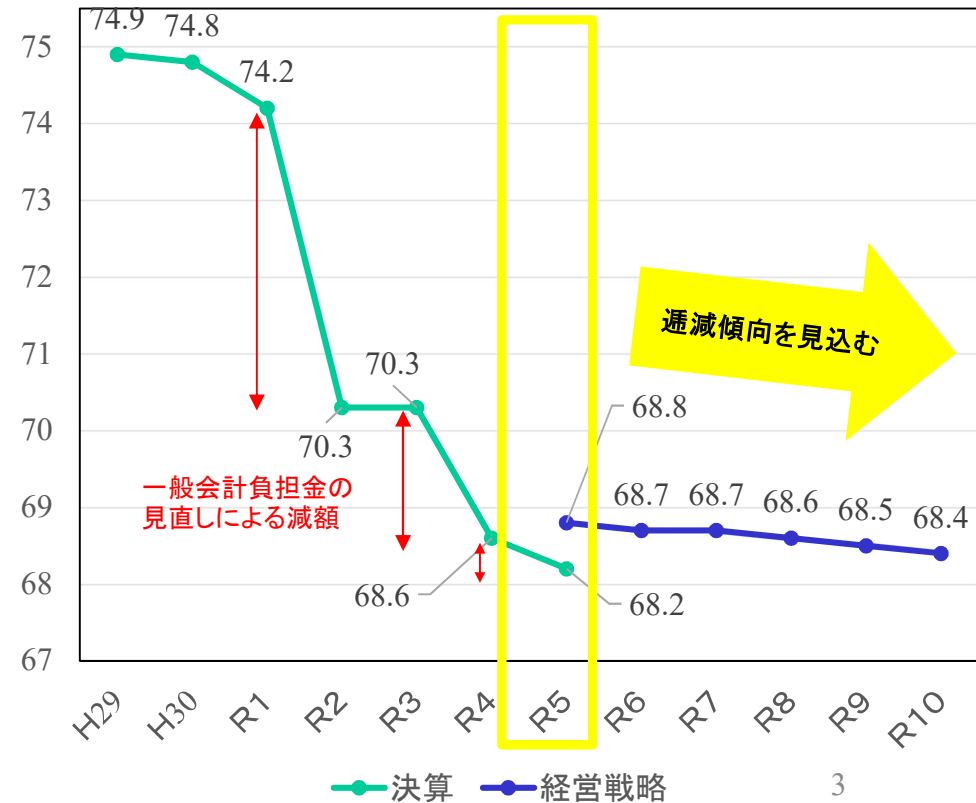
- 他会計負担金の減少 $\Delta 1$ 億5,502万円(前年度比 $\Delta 8.3\%$)
- 長期前受金戻入益の増加 $+1$ 億3,619万円(前年度比 $+10.1\%$)

(単位:百万円)

	5年度	4年度	増減
事業収益	6,816	6,864	$\Delta 48$
営業収益	4,624	4,782	$\Delta 158$
使用料	3,608	3,618	$\Delta 10$
他会計負担金	1,015	1,163	$\Delta 148$
その他の営業収益	1	1	0
営業外収益	2,191	2,081	110
受取利息金及び配当金	1	1	0
他会計負担金	686	692	$\Delta 6$
他会計補助金	0	0	0
雑収益	10	39	$\Delta 29$
長期前受金戻入益	1,484	1,348	136
補助金	10	1	9
特別利益	1	1	0
過年度損益修正益	1	1	0

事業収益の推移

(単位:億円)



3 事業費用

●事業費用総額 65億1,847万円(前年度比 $\Delta 0.6\%$)

【主な減少要因】

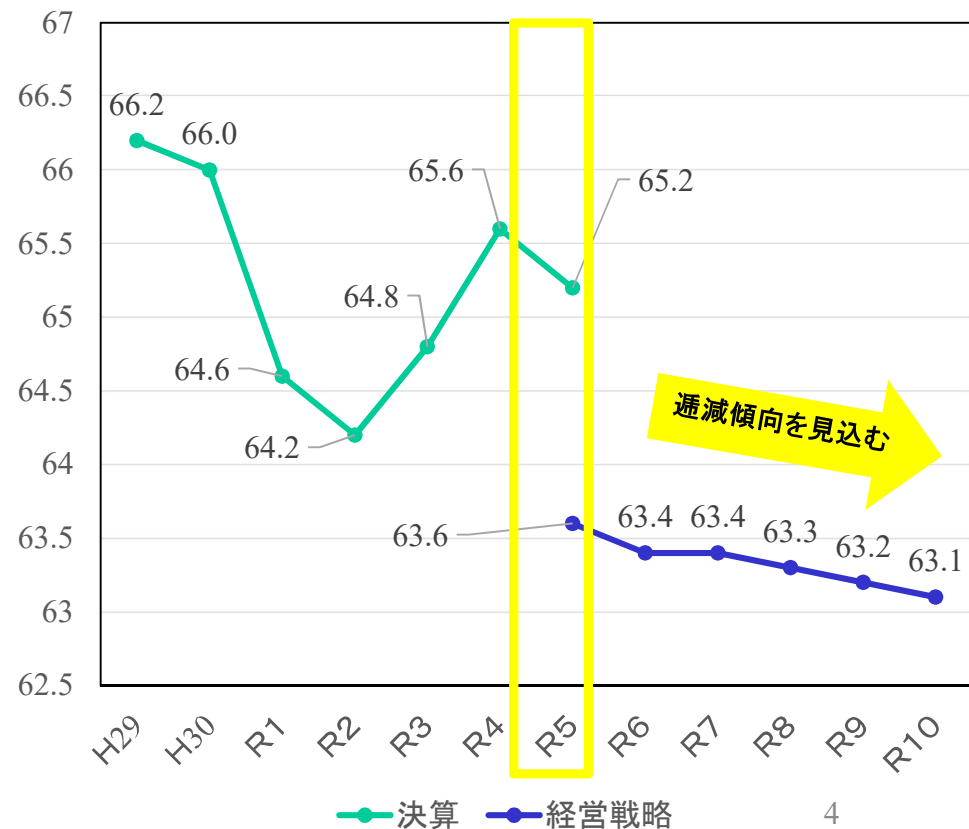
○企業債利息償還金の減による営業外費用の減少($\Delta 9.8\%$)

(単位:百万円)

	5年度	4年度	増減
事業費用	6,518	6,557	$\Delta 39$
営業費用	5,878	5,846	32
汚水管渠費	222	262	$\Delta 40$
雨水管渠費	35	36	$\Delta 1$
污水ポンプ場費	151	164	$\Delta 13$
雨水ポンプ場費	68	79	$\Delta 11$
処理場費	41	28	13
流域下水道維持管理負担金	1,235	1,076	159
受益者負担金賦課徴収費	4	13	$\Delta 9$
水洗便所普及促進費	5	5	0
業務費	179	198	$\Delta 19$
総係費	125	121	4
減価償却費	3,808	3,813	$\Delta 5$
資産減耗費	5	51	$\Delta 46$
営業外費用	637	706	$\Delta 69$
支払利息及び企業債取扱諸費	602	669	$\Delta 67$
雑支出	35	37	$\Delta 2$
特別損失	3	5	$\Delta 2$
過年度損益修正損	1	1	0
その他特別損失	2	4	$\Delta 2$

事業費用の推移

(単位:億円)



4 資本的収支

● **資本的収入 49億2,087万円**(前年度 33億4,051万円) +15億8,036万円【+47.3%】

【主な増減要因】

- 企業債 : 起債対象事業費の増加に伴う増(+14億 220万円)
- 補助金 : 国庫補助対象経費の増加に伴う増(+1億7,173万円)

● **資本的支出 79億5,659万円**(前年度 66億4,857万円) +13億 802万円【+19.7%】

【主な増減要因】

- 建設改良費 : 建設改良費の増加に伴う増(+13億9,415万円)

(参考) 主な事業費

	污水管渠築造費	雨水管渠築造費
【R5】	17.5億円	12.2億円
【R4】	11.9億円	6.4億円
差	+5.6億円	+5.8億円

<企業債>

【概要】

公営企業の資金を調達するため発行されるもので、その元利償還金は主として当該企業の使用料収入等から支払われる。下水道事業については、下水道に係る建設改良費等及び用途廃止施設の処分に要する経費等を対象とするもの。

【充当率】

100%(上限)

5 -1 主な経営指標

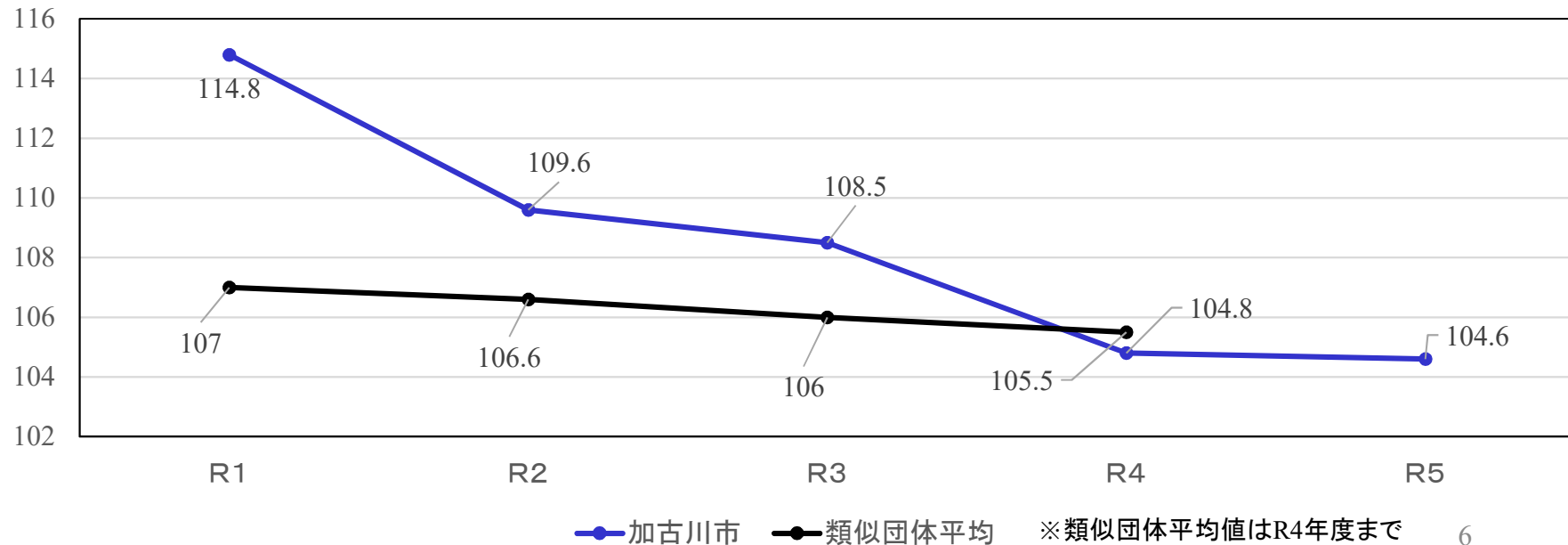
経常収支比率 **104.6** (R4類似団体平均(公共):105.5)

【算式】 経常収益／経常費用

- 当該年度において、下水道使用料や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標。単年度の収支が黒字であることを示す **100%以上となっていることが望ましい。**
- 営業外収益の減少により前年度と比べ、**0.2ポイント悪化**した。

経常収支比率の推移

(単位:%)



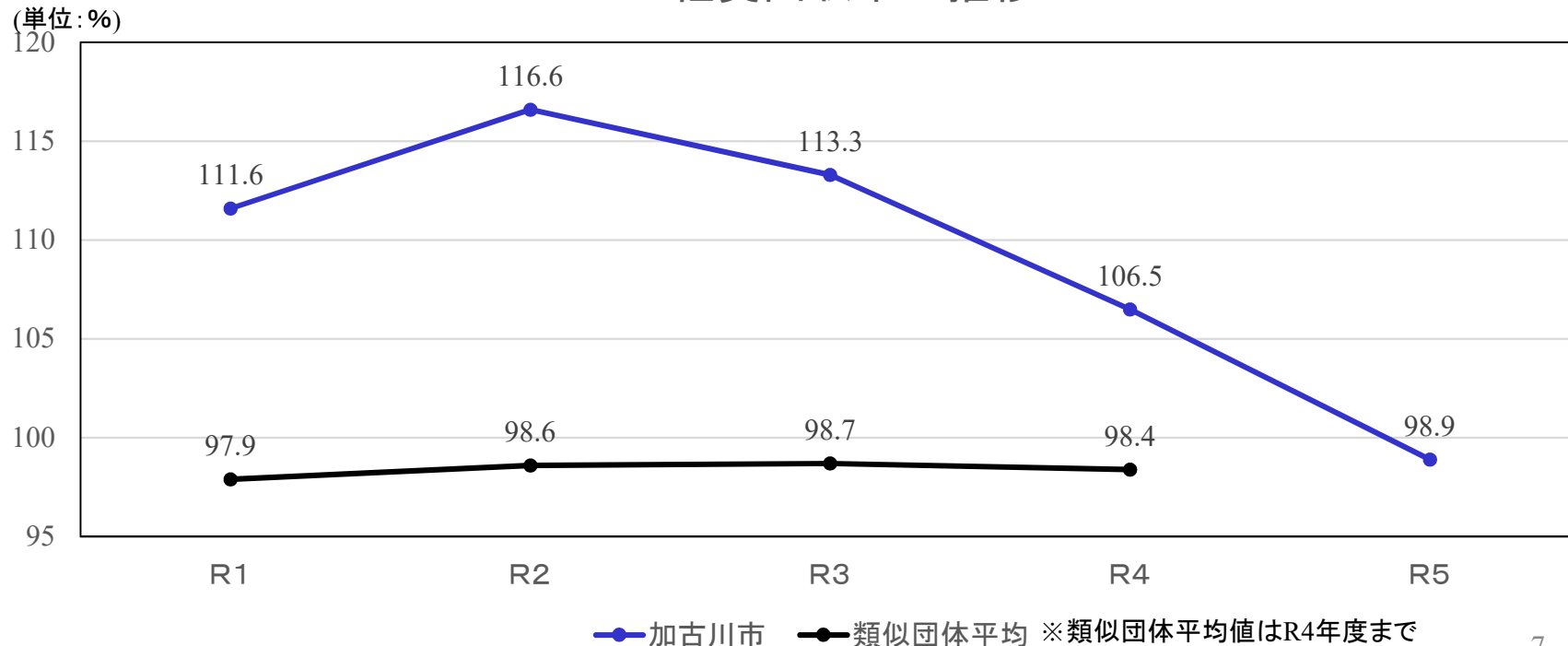
5-2 主な経営指標

経費回収率 **98.9** (R4類似団体平均(公共):98.4)

【算式】 下水道使用料／汚水処理費

- **経費回収率が100%を下回っている場合、汚水処理に係る費用が下水道使用料以外の収入で賄われていることを意味する。** 数値が低く、繰出基準に定める事由以外の繰出金によって収入不足を補填しているような事業体にあつては、適切な使用料収入の確保が求められる。
- R5年度は流域下水道維持管理負担金が例年よりも増。その影響がなければ経費回収率は100%程度となる。(R4年度の負担金徴収不足分を支払ったため。)

経費回収率の推移



5-3 主な経営指標

使用料単価 **155.34円/m³**

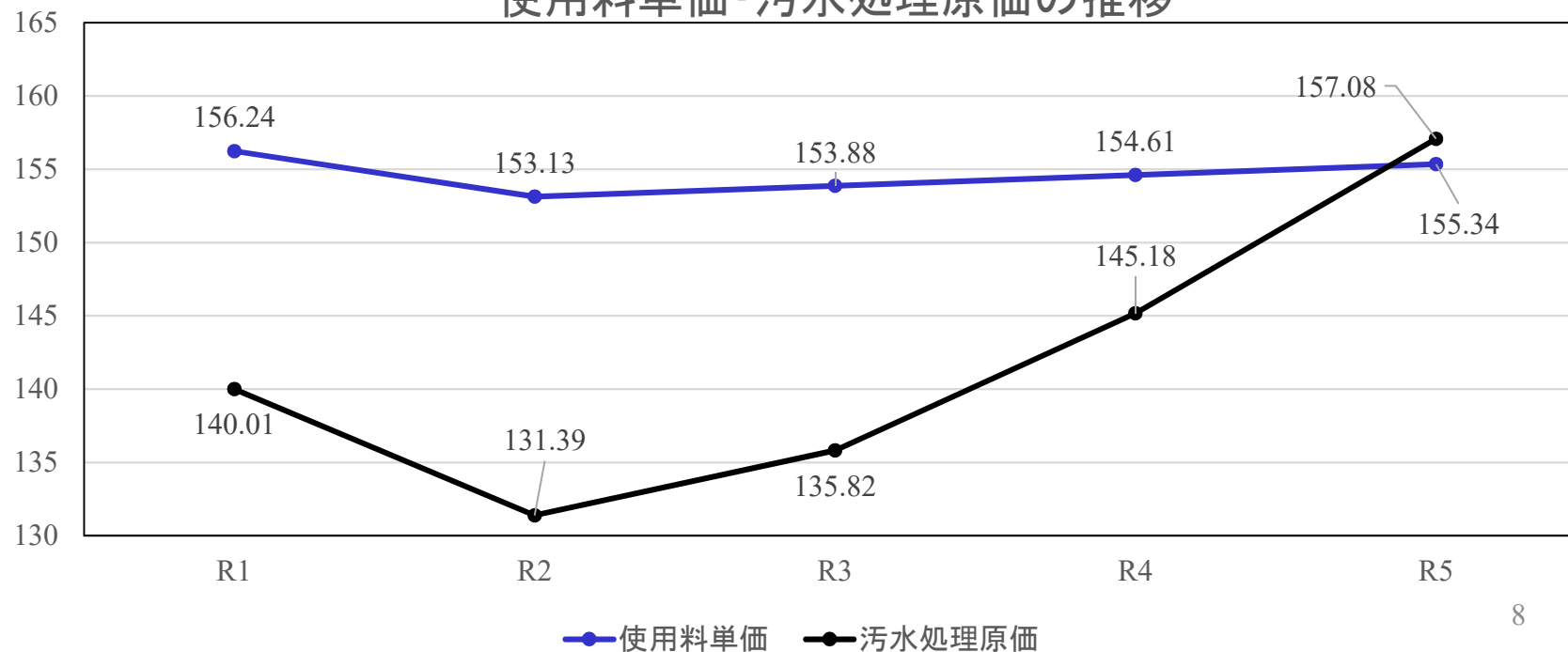
$$= \frac{\text{下水道使用料 } 3,608,116,930\text{円}}{\text{有収水量 } 23,226,749\text{m}^3}$$

汚水処理原価 **157.08円/m³**

$$= \frac{\text{汚水処理費 } 3,648,441,466\text{円}}{\text{有収水量 } 23,226,749\text{m}^3}$$

(単位: 円/m³)

使用料単価・汚水処理原価の推移



5 -4 主な経営指標

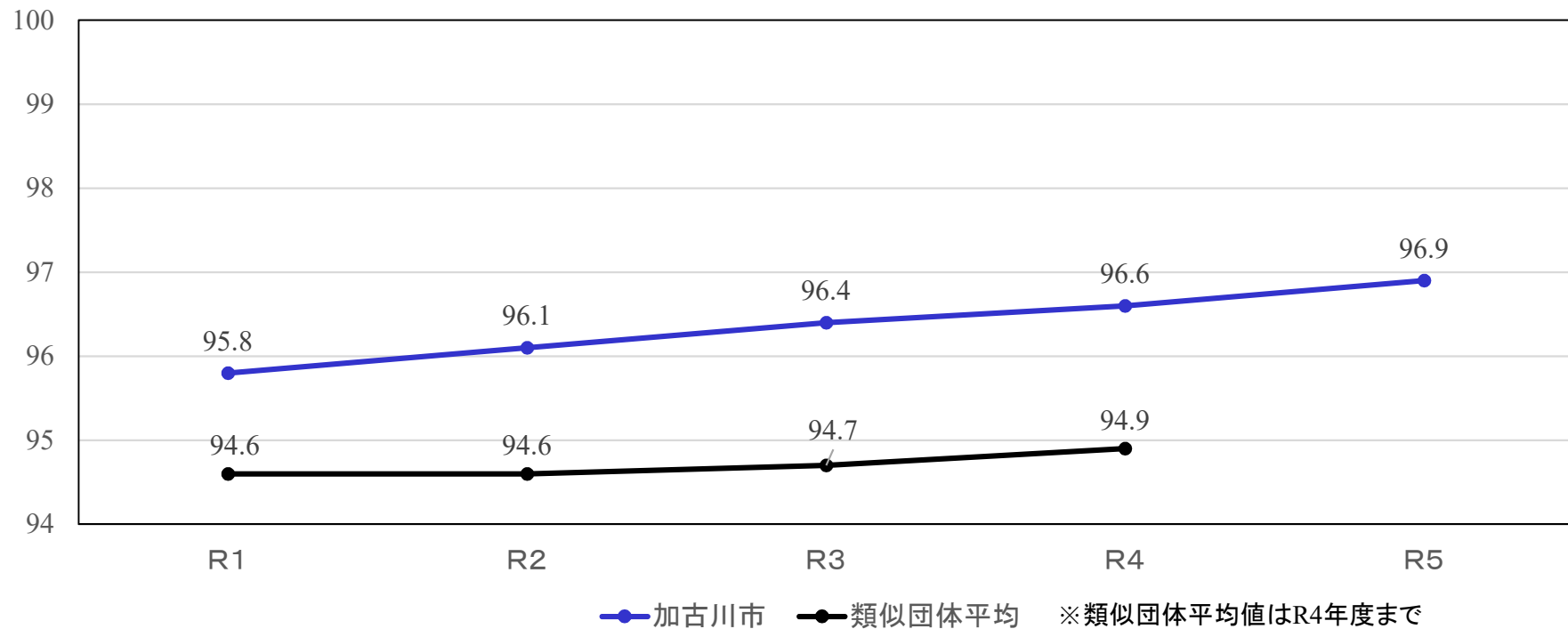
水洗化率 **96.9** (R4類似団体平均(公共):94.9)

【算式】 現在水洗便所設置済人口／現在処理区域内人口

- 公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%となっていることが望ましい。
- 前年度と比べ、**0.3ポイント増加**した。

(単位:%)

水洗化率の推移



5-5 主な経営指標

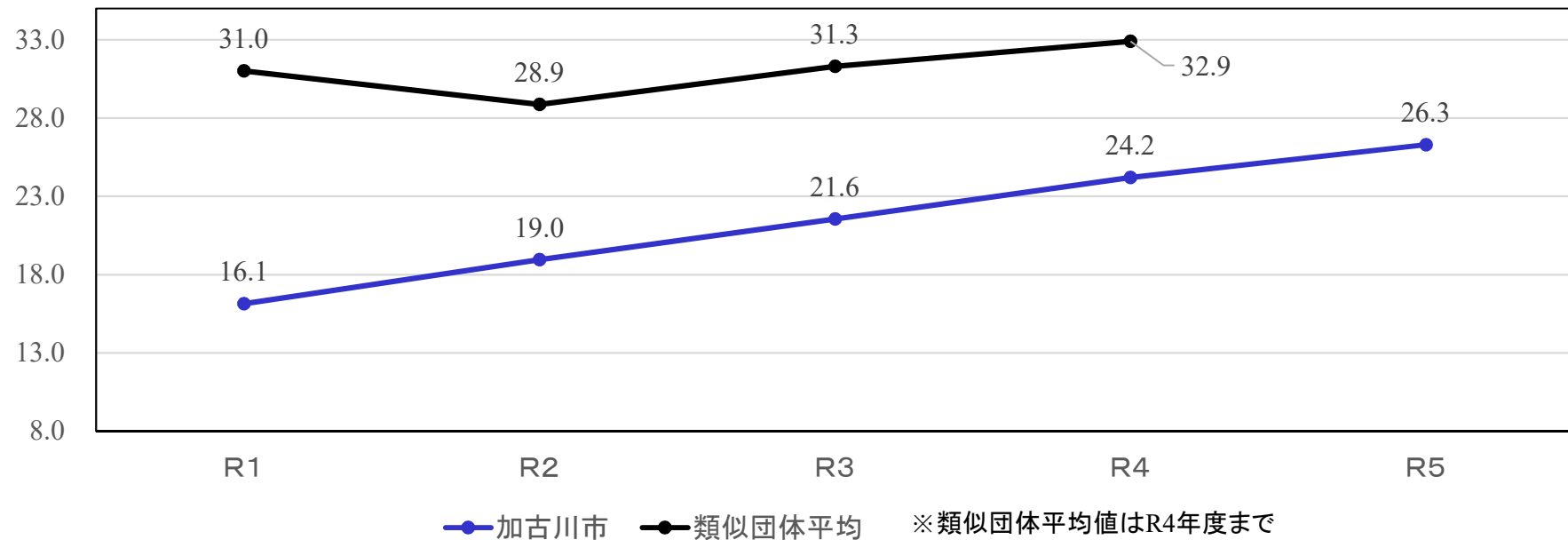
有形固定資産減価償却率 **26.3** (R4類似団体平均:32.9)

【算式】 有形固定資産減価償却累計額／有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価

- 数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多いことを示しており、将来の施設の更新等の必要性を推測することができる。
- 減価償却が進んだことにより前年度と比べ、**2.1ポイント増加**した。

(単位:%)

有形固定資産減価償却率の推移



5 -6 主な経営指標

企業債残高 約 425.1億円

当年度償還高(約42.2億円)を当年度発行額(約35.4億円)が下回っているため、前年度と比べ、約6.8億円減少した。

積立金残高 約 17.8億円

4条収支の不足額(資本的収入額が資本的支出額に不足する額)に対し、建設改良積立金3.1億円、減債積立金2.1億円を補てん。当期純利益を建設改良積立金へ0.9億円、減債積立金へ2.0億円積立。
⇒積立金は前年度と比べ、約2.2億円減少した。

<建設改良積立金残高>

R4年度決算認定後残高	1,500,997,577円
R5年度補てん額	△310,000,000円
R5年度積立額	93,153,119円
<hr/>	
R5年度決算認定後残高	1,284,150,696円

<減債積立金残高>

R4年度決算認定後残高	502,467,422円
R5年度補てん額	△206,000,000円
R5年度積立額	204,000,000円
<hr/>	
R5年度決算認定後残高	500,467,422円

6-1 下水道ビジョン2028の進捗

快適



下水道普及率の向上

- 下水道普及率: 目標値 95.5%
⇒ 現状: 92.7% (+0.5)
- 生活排水処理率: 目標値 100%
⇒ 現状: 96.4% (+0.4)



良質な水環境の確保

- 水洗化率: 目標値 100%
⇒ 現状: 96.9% (+0.3)

6-2 下水道ビジョン2028の進捗

安心



災害への備え

- ・雨水整備率:目標値 51%
⇒現状:49.9%(+0.4)
- ・ポンプ場の耐震評価診断:目標値 実施
⇒現状:一部実施
- ・上下水道BCPに基づく訓練の実施回数:目標値 2回以上/年
⇒現状:2回(±0)



管渠・施設の機能維持

- ・管渠の巡視点検の実施回数:目標値 2回以上/10年間
⇒現状:1回/5年間の距離の巡視点検を実施
- ・陥没事故件数:目標値 0件
⇒現状:0件(±0)

6-3 下水道ビジョン2028の進捗

持続



持続可能な経営

- ・ 経常収支比率: 目標値 100%以上
⇒ 現状: 104.6% (Δ0.2)
- ・ 経費回収率: 目標値 100%以上
⇒ 現状: 98.9% (Δ7.6)



お客さまとのコミュニケーション

- ・ 広報誌発行回数: 目標値 2回/年
⇒ 2回/年 (±0)
- ・ アンケートの実施: 目標値 定期的に実施
⇒ 2回/年 (±0)